

たぶせ 議会だより



笑顔いっぱいの放課後 こども教室

梅ジュースつくったよ /



紙ヒコーキとばしたよ /



- p2 6月定例会
- p3 委員会Q&A
- p5 一般質問(9人の議員が町政を問う)
- p14 議会だよりを読んだ感想
- p15 研修・活動報告
- p16 議員リレー随筆・発見クイズたぶせ

今号の写真

城南こころ教室

(6月3日)



田布施町議会の
ホームページ

HOT TOPICS!!

補正予算 一般会計 4,984 万円増額

3月に可決された74億800万円の令和8年度一般会計予算に4,984万円(0.7%)を増額補正し、総額を74億5,784万円とするもの。

令和8年度補正予算主な事業

こどもの居場所づくり事業
37 万円

家庭・学校以外のこどもの居場所として、保健センター(夏休み期間中)やお試し暮らし住宅「おいでえ」等を開放し、運営するボランティア団体等を支援

- Q** 放課後児童クラブと、こどもの居場所づくり事業の使い分けは。
- A** 児童クラブは、保護者が昼間不在の児童が対象。当事業は、町内の乳幼児から高校生を対象としており、どなたでも利用可能。
- Q** 学生ボランティアの他に一般の若者にも地域への参加意識を高めるために協力してもらっては。
- A** 新しい取り組みなので、まずはやってみる。必要に応じて考える。

駅舎等整備事業
669 万円 増

実施設計委託料の増額

予約型定額乗合タクシー
「のりーね」の業務体制整備
253 万円 増

- 運行実績から得られるモビリティデータの分析可能ツールの導入
- 膨大な運行記録(輸送人員、運行時間、待機時間等)の集計ツール導入
- 公共交通マップの作成

県内初のB&G財団より助成を受けた防災拠点整備

防災拠点整備事業 3,361 万円

建設予定地



災害発生時の緊急対応や避難所運営に必要な機材の整備及び防災倉庫の設置
場所:光地区消防組合中央消防署東出張所裏

防災拠点事業(人材育成) 330 万円

研修の様子



B&G財団のホームページより

災害発生時の緊急対応に備え、重機などの操作研修や資格取得、資機材の活用研修

6月定例会

令和8年6月定例会は6月10日から18日までの9日間の日程で開かれました。本定例会では町長提出議案の補正予算1件、条例2件、人事1件、専決処分3件、請願1件の計8件を審議しました。

人 事 固定資産評価審査委員会委員の選任について…寺田真理子氏を再任

委員会 質疑あれこれ

一般会計補正予算

こどもの居場所づくり事業

保健センター(夏休み期間中)

Q 食事を提供ということ

で、田布施町にはキッチンカーがあり、利用できないか。

A 社会福祉協議会と提供できる食事を協議し、様々な団体の協力をいただきながら、検討していきたい。

Q 夏休み期間中の、こどもの居場所づくり事業は、

9時から16時までとある。昼食は、保健センター内は飲食禁止となっているが。

A 平生町社会福祉協議会の事業を参考に昼食を提供する方向で検討している。

人数の把握などが難しいので7月は昼食を出さず、8月から焼きそば、カレーや防災食の提供を考えている。7月は、昼食を提供しないので弁当等を持参してもらうことを想定している。保健センター内の飲食は可能。

予約型定額乗合タクシー

「のりーね」の業務体制整備

Q のりーねの事故防止に対する取り組み、対策は。

A 業者が国の指針に基づいて対応している。

Q 持続可能な地域交通体制の構築とは。

A データに基づき分析し根拠のある改善、そして職員のスキルアップに繋げる。

Q 公共交通マップの作成とは。

A のりーね、バス、JR等の接続を分かりやすく地図に表記。地域交通計画で作成することとしたもの。



美祿市で作成された公共交通マップ

〈諸収入〉

B&G財団助成金

3260万円

Q この団体との関係は。

A 助成金を受け、研修の旅費や講師委託料、防災用

機材・備品の購入、防災倉庫の設置のため、本町として自主性・主体性をもって行うもの。財源不足もあることから助成金を活用した。

〈国庫支出金〉

消防費国庫委託金

200万円

Q 自主防災組織等活性化推進事業、県内では本町のみ採択された。内容は。

A 昨年に引き続き消防庁に申請し採択されたもの。避難所を対象とした事業。どこの避難所にするか、どの団体にするか等、まだ詳細は決まっていない。防災用のパンフレットもこの事業で作成予定。

報酬及び費用弁償条例の一部改正

投票時間の短縮による投票管理者と投票立会人の報酬を減額するもの。

Q 投票時間を短縮したのは令和5年度。なぜ今回改定するのか。

A 近隣市町や全国の動向を見て、このタイミングとなった。

総務文教委員会での討論

上関町における中間貯蔵施設設置について事業者及び国からの説明を求める請願書

反対討論

落合委員

請願の文面には「拙速に賛否を判断するのではなく」とあるが、昨年3月の町議会では「上関町での中間貯蔵施設の建設に反対する決議」を可決している。決して拙速な判断ではない。

賛成討論

松田委員

ものごとには表と裏がある。自分の立ち位置や人それぞれ価値観が違う。反対もあれば賛成もある。個人の暮らし、価値観、未来のことを考えて賛否を決める。知識がないと良いも悪いも分からない。単純に国・事業者から説明を求めたい。商工会の願いであると思う。

反対討論

高見委員

まず、商工会は推進の立場であること。建設の決定は上関町と県知事が承認することと言われるが、県知事は周辺市町が賛成しないと承認しないと云っている。周辺市町の決議は非常に重要なものである。本町は半径20kmの範囲内にあり影響も大きい。この問題は田布施町が判断することであり、昨年の決議は非常に重要なものである。

6月定例会本会議

私はこう判断

各議員の判断結果一覧です。(○…賛成、×…反対)

		内山昌晃	落合祥二	小中進	瀬石公夫	高月義夫	高見英夫	谷村善彦	西本篤史	藤田枝里香	松田規久夫	守田達也	南一成	結果
補正予算	一般会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
条例	議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	報酬及び費用弁償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
専決処分	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	都市計画税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○
請願	上関町における中間貯蔵施設設置について事業者及び国からの説明を求める請願書	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×		○

※議長は賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明

本会議での討論 2件

国民健康保険税条例の一部改正

反対討論
高見 英夫

国は子育て支援のための財源を税ではなく医療保険料から徴収しようとするが、財政規律を損ない、国保税の負担がより大きくなる。国の制度に問題があるが、地方自治体としてその害悪を少しでも減らすべき。理不尽な国の制度にそって年金者・低所得者により大きな負担を強い格差を拡大する条例改正には賛成できない。

上関町における中間貯蔵施設設置について事業者及び国からの説明を求める請願書

請願の主旨

上関町における使用済燃料中間貯蔵施設（以下、「中間貯蔵施設」という。）の設置について、田布施町長から事業者及び国に対し、正確かつ詳細で責任ある説明を行うよう、強く求めるもの

請願の理由

現在、山口県上関町において検討が進められている中間貯蔵施設の設置については、上関町に隣接する田布施町にとっても、地域経済に大きな影響を及ぼす重要な案件である一方、原子力関連施設であることから、住民の間に強い不安が存在している状況にあります。

しかしながら、現時点においては事業者から具体的な事業計画や安全性、環境への影響等に関する十分かつ詳細な説明がなされているとは言い難く、地域住民及び関係者が適切に判断を行うための前提条件が整っていない状況にあります。

このような現状を鑑み、当会としては、本件について拙速に賛否を判断するのではなく、まずは事業者及び国から、正確かつ詳細な情報提供がなされ、その内容に基づいた十分な議論が行われることが不可欠であると考えております。

つきましては、いずれ上関町に対して事業計画が示された際には、田布施町の住民に対しても事業計画の具体的な内容について、正確かつ詳細で責任ある説明を行うことを、田布施町長から事業者及び国に対して、強く求めていただくよう請願いたします。

反対討論
藤田 枝里香

事業者及び国からの説明は当然必要だが、本請願には反対。理由は①同時期に他市町の商工会から提出されており、建設を急がせる恐れがあるため。②説明の時期が「計画が出た後」となっており、建設ありきの説明会になる恐れがあるため。危険性を指摘する専門家など、反対派の意見も公平に聞く場でなければ町民が正しく判断できない。

賛成討論
内山 昌晃

事業者及び国から、正確かつ詳細な情報提供がなされ、その内容に基づいた十分な議論が行われることが不可欠。単純に説明を聞きたい、知識をつけたいとの思いである。町民に対して詳細かつ具体的な説明が行われた後は、町民一人ひとりが、考え、我々議会も町民の意見をしっかりと聞き、俯瞰的、総合的に判断していくべき。

反対討論
高見 英夫

風評被害等を懸念する会員もあり、請願が商工会全体の意思なのか疑問。「適切に判断を行うため」には、推進する立場の国・中国電力だけでなく「反対派も含めたシンポジウム」の方が、町民が適切に判断できる。交付金等を「地域経済に大きな影響を及ぼす重要な案件」ととらえているようだが、「安全・安心」を優先すべき。

一般質問

9人の議員が町政の課題を問う

質疑の一部を要約してお伝えします



藤田枝里香
議員

Q 新田布施駅の計画について
町民に説明は

A 関係者説明会や工事説明会、
パブリックコメントなどを
実施
東町長

問 2月に第1回田布施駅舎等整備検討委員会が開催。5月に整備基本計画とスケジュールの変更が示され、先進事例として宮崎県高鍋駅を視察した。

①住民説明会を行う予定は。
②駅に指定管理者などを置く予定は。
③住民の意見を取り入れて反映する予定は。その手段や期限は。



高校生主体のイベントが月1回ある高鍋駅の黒板

答 ①JR西日本と基本的な調整終了後、事業内容や進捗について広報やホームページ等で紹介。工事説明や関係者説明会は実施予定。概要説明会や意見交換会も考えうるが検討委員会もあるので相談。

②管理者設置に向けて検討。
③全ての住民の皆様の声を聞くには、設計案に対するパブリックコメントを実施。

Q 新入学・進級時の
負担軽減について

A 保護者と子ども、
学校にとっても
良い方法を
藤田教育長

問 入学時や進学時の困り
事を聞いた。

①小・中・ハーフパンツ共通化や水着・算数セットの記名簡略化でリユースしやすく。
②ランドセルに似た鞆、靴と傘の色の自由化は。
③子どもが学校に意見できる仕組みは。
④入学後の情報の早期提供を。
⑤中学校PTAについて小中5校の話し合いの場を。



児童が話し合いを重ね、靴が自由化した平生小

答 ①学用品の購入負担軽減は重要な課題。学校と保護者が意見を交わし検討。

②安全性や機能性を確保した上で、多様なニーズに配慮することが必要。
③子どもたち自身が考え、対話し、学校づくりに参画する経験が大切。
④早期に情報提供するよう努める。
⑤校長会で説明し機会を設けたい。



松田規久夫
議員

Q 近視が「あたりまえ」の社会を避ける

問 3月予算委員会でタブレット購入数が過剰と指摘。理由は返納する卒業生と貸与する新入生の人数差。計画変更は。近視は現代の生活習慣病。文科省資料では、視力が1.0未満の小学生は約4割、高校生は7割超え。40年前に比べ小・中2割増と悪化。予防と使用方法は。

A 視力低下予防の配慮事項を実施 藤田 教育長

答 購入する小・中タブレットは、当初予算通りの購入台数。視力配慮事項は目と画面の距離を30cm以上離す。寝る前にタブレットは使わないなど。小学校のメディアコントロール啓発実施、中学校のノーメディアデー、生徒会活動の目の愛護デー設定など。使用方法に変更はない。



Q 生成AI(人工知能)導入で役場の仕事はどのように

問 役場の仕事は申請主義で、対面(電話を含む)が「あたりまえ」。AI導入省力化で職員余剰となりそう。負担が増す職員も発生しそう。仕事の変化に職員は適応していけるか。自己研鑽がなければ情報化時代の変化についていけない。どう防ぐのか。ランドデザインは描けているか。

A 田布施町DX推進方針の改定で示す 東 町長

答 職場の業務利用で極めて有用なツールと認識し、対話型AIや議事録作成AIを業務利用して事務負担軽減に寄与。利用促進のため、連携協定を締結しているDMM.comが、AI活用をテーマに研修実施する。田布施町DX推進方針の改定を進めており、その中で明確にする。

Q 格差「あたりまえ」の水道料金で良いのか

問 投票によっては1票の格差2倍、水は生存権の格差と考える。水道料金差の許容範囲は何倍か。生命を保つのに重要な水、自然の恵みの水道料金格差は。解消法は2つでは。①もっと広域化し、最終的に県内事業統一後に料金の均一化。②県からの高料金対策の補助金を大幅に増額。

A 県内均一化は研究、1市4町で要望 東 町長

答 弥栄ダムの遠方水源に依存し導水・浄水・送配水は、総事業費約586億円の巨費を投入整備した大規模施設。給水人口が少なく、一人あたりの費用負担は大きい。①水道料金県内均一化は、長期的な視点で研究・検討を進める。②県知事要望の場で、最重要課題として知事に支援を求める。



日積浄水池(柳井市)

内山 昌晃
議員

Q 次期町長選への意気込みは

A 出馬に向け準備

東町長

問

任期満了に伴う町長選挙は10月25日となっている。東町長1期目は新型コロナウイルス感染症対策に追われ、2期目は「たぶせ未来戦略」に沿ったまちづくりに取り組んでいる。今年度から、駅舎や農業についての大型事業が始まった。これまでの総括と3期目出馬の意欲、決意を訪ねる。

答

高校生までの医療費完全無償化等の子育て施策、城南住宅、保健センター、麻里府公民館の建設、また、「駅舎と駅周辺の整備事業」「町農業支援センター事業」等大切な事業に着手したばかり。その他人口減少対策等、課題は山積。「たぶせ未来戦略」の実現に向け出馬の準備を進めている。

Q

ふるさと納税 新たな取組を

A

まずは「田布施町」を
全国にPRしていく

東町長

問

宮崎県川南町では年間50億円を超える寄附金を集めている。自治体規模はほぼ同じだが寄附額は本町の100倍以上。返礼事業者等の折衝や商品開発等は地元の間事業者者に委託している。本町も地元の間事業者者に委託し、更なる返礼事業者の発掘や商品開発に取り組んでは。

答

ふるさと納税サイト毎に3つの中間事業者に委託。返礼品の開拓と事業者との折衝、寄附者対応を実施。委託費は寄附額の数%。地域密着ではないため新規事業者開拓、新規返礼品開発は積極的ではない。経費をかけず地域密着の中間事業者は今のところいない。まずは、本町を全国に知ってもらう努力をしたい。



Q

利用しやすい申請手続きを

A

住民の利便性向上に努める

東町長

問

申請手続きは様々な部署で行われる。内容により3つに分類。

- (1) 対面での説明や申請が必要なもの。
 - (2) 予約し使用日に来庁し申請できるもの。
 - (3) 来庁せずにオンラインで申請できるもの。
- 昨今のネット社会に鑑み、オンライン申請が必要と考えるが、本町の環境は。利用状況は。

答

住民の利便性向上や業務効率効果が高い手続き11件中4件オンライン（以下OL）化。手続きをワンストップで行うための子育て、介護等手続き26件全て実施済み。OL化していないものは文化・スポーツ施設等。費用対効果を踏まえ検討。OL申請の利用促進、住民の利便性向上に努める。





小中 進
議員

Q 田布施町の教育について

A 学校、家庭、
地域との連携
藤田 教育長

問 教育長に就任され本町の教育ビジョンや学校、社会教育に対する抱負を尋ねる。

①教員不足、長時間労働の問題について。

②不登校の現状、そして実践的な対応と対策について。

③社会教育の現状と問題点について、具体的な施策や方針について尋ねる。

答 ①令和7年から採用試験を2か月前倒したが伸び悩んでいる。長時間労働については留守番電話を設置、デジタル化、業務の効率化により減少した。②安心して過ごせる学級づくりにより減少傾向に転じている。③公民館や教育施設を地域交流の拠点として、活性化を図る。

Q 町政を担う意志はあるのか

A 出馬準備を進めている
東 町長

問 次期町長選挙は10月20日告示、同月25日投開票の日程で実施予定。①町長は、次期町長選挙に出馬し、町政を担う意志があるのか尋ねる。②2期8年の総括と未達成の課題について尋ねる。③上関町中間貯蔵施設の問題に対して、今後どのような姿勢で取り組むのか尋ねる。



田布施町の町並み

答 ①後援会から出馬要請を受け準備を進めている。②町独自の事業支援や地域振興策等を実施できた。未達成の課題は水道料金対策、田布施駅舎と周辺整備事業、新たな農業を目指した「農業支援センター」事業。③議会と町長の判断は別の次元。1市3町で申し合わせ、引き続き適切に対応。

Q 希望の持てる農業について

A 農業支援センターを中心に
東 町長

問 4月1日付けで着任された堀米副町長は、前農林水産省職員で、若さと行動力を発揮され、農業支援センターを中心とする農業振興に大いに期待する。農業は天候や市場価格に左右され安定した所得補償も厳しい現状で、本町の希望の持てる農業政策の展望について尋ねる。



役場3階 農業支援センターにて堀米副町長

答 高齢化や後継者不足等の問題は重要課題と認識しており、農業支援センターを立ち上げ課題解決に向けて取り組んでいる。希望の持てる農業政策については、農業従事者の所得の安定と先の見通せる農業経営の確立に向けた支援を行う。地域の重要な農業を皆で支えていく仕組みづくりに取り組んでいく。



守田 達也
議員

Q
温暖化対策について
再生可能エネルギーの
有効活用を

A
可能性がある事業が
出れば検討する

東町長

問

地球温暖化対策は人類共通の課題となっている。本町でも実行計画達成に向け努力されている。以下質問する。

- ①令和5年度までの温室効果ガス削減が目標を大きく上回った要因は。
- ②新たな取組はあるか。
- ③一般家庭へ省エネ対策補助の考えは。
- ④再生可能エネルギーの有効活用を事業として取組めないか。



麻里府公民館の太陽光発電施設

答

①ハード・ソフト両面での取組みが総合的に機能した。②現時点では田布施駅交流施設への導入を計画。公用車の燃料電池自動車等導入も検討。更にぶちエコ山口県民運動にも参加。③現時点では考えていないが、国・県の動向をみて検討する。④魅力ではあるが、初期投資の大きさ、経営悪化時の公金投入リスク等、慎重な判断が必要。

Q

自治会の課題を
社会教育の一環で

A

検討・研究したい

藤田 教育長

問

社会情勢が変化する中、生きがいを持ち活力ある地域にするためには社会教育が重要。そこで質問する。①社会教育方針を伺う。②成人教育の具体的取組は。③シビックプライドにも繋がる指導者・リーダーの発掘、育成をどう進めるのか。④自治会の課題を社会教育の一環として検討出来ないか。

答

①五つの重点施策を掲げ推進。②地域行事への参加促進、地域コミュニティの活性化を図る。③若い世代が地域活動へ参加しやすい環境づくりを進め、多世代が協働する中で次世代リーダーの育成につなげる。④自治会運営や地域課題について話し合う機会を設けることは有意義である。検討・研究したい。

用語メモ

シビックプライド

- ・自分のまちを誇りに思う気持ち
- ・そのまちに愛着をもち、住み続けたいと思う感情
- ・まちを良くするために、自分も関わるべきだという意識





瀬石 公夫
議員

Q

将来にわたり持続可能な農業
積極的な対策を

A

「田布施町農業支援センター」で
取組を加速する 東 町長

問

本町の農業は、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、資材価格の高騰などにより、地域農業の維持が大きな課題となっている。一方で、新規就農支援、スマート農業の導入等、新たな可能性も広がっている。将来にわたり持続可能な農業を守るため、積極的な施策展開が必要では。

答

4月に設立した「田布施町農業支援センター」の活動の中で、取組を加速させ、田布施町の農業の未来を担う農業者の確保やスマート農業の導入等に取り組む。スマート農業の導入に当たっては活用可能な補助制度や新しい事例の紹介を積極的に行い支援を行っていく。

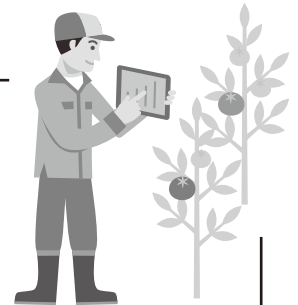


ほ場整備後の田植え（瀬戸）

用語メモ

スマート農業

ドローンやICTなどの先進技術を活用して農業の効率化や生産性向上を図る手法のこと。

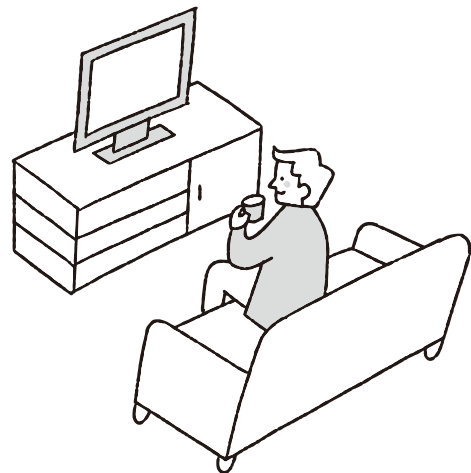


Q

テレビ視聴環境の改善
「IP方式ケーブルテレビ」
(光回線テレビ)の導入を

A

ケーブルテレビ事業者が
放送を検討中 東 町長



問

本町のテレビ視聴環境に不便を感じるという声がある。本町では光回線が整備されており、情報インフラの基盤はすでに整っている。光回線を活用した「IP方式ケーブルテレビ」を導入すれば大規模なインフラ整備を行うことなく、低コストでテレビ視聴環境の改善や情報発信が可能では。

答

「IP方式ケーブルテレビ」は通信事業者により敷設した光インターネット回線を利用したケーブルテレビ放送と認識している。ケーブルテレビ事業者から、田布施町でケーブルテレビ放送のサービスを提供したいと考えていると話があった。現在、事業者で提供について検討されている。

西本 篤史
議員

Q

新教育長
独自の教育方針は

A

「ポジティブタウン田布施」
を推進していく

藤田 教育長

問

町は長い歴史の中で地域の伝統や教育が育ってきた。学校教育は小学校、中学校が主であるが、社会教育は幼児から高齢者、内容も文化、スポーツ、生涯学習、ボランティア活動など幅広い。授業もデジタル化が進みデジタル教科書になるのか、紙教科書なのか。独自の教育方針は。

答

デジタルか紙かの二者択一ではなく、それぞれの長所を生かしたハイブリッド型の活用が重要であると考えている。子どもたちにとって最も効果的な学習環境を整備していく。教育施策の柱として、SWPBS[※]の推進、「ポジティブタウン田布施」を町の教育キャッチフレーズとして推進する。

※SWPBS：学校全体でのポジティブな行動支援

Q

高齢者保健福祉
健康寿命の延伸は

A

介護予防事業を行う

東町長

問

町の高齢化率は38.4%。対策として健康寿命の延伸やフレイル予防の取組が大事である。介護予防の取組はしているのか。認知症になった場合の施設は充実しているのか。「のりーね」の評判はどうか。特定検診の胃のレントゲンを胃カメラに出来ないか。

答

介護予防事業として、「いきいき百歳体操教室」及び「たぶせ茶屋事業」などを行っている。「のりーね」については大変好評と聞いている。胃カメラによる検査は、複数医師による二重読影が必要なため今後、県内の状況や近隣市町の医療機関と協議し、体制整備の方策を検討する。



百歳体操の様子

Q

大規模火災防止
住宅用火災警報器の補助は

A

補助金はない

東町長

問

国内の大規模火災が多くなった。（林野・住宅密集地）

住宅密集地で空き家が多いと消火活動も大変では。団地の消火栓、消防訓練、屋内火災警報器など問題はないか。地区によっては高齢者も多く、避難方法など訓練したほうが良いのでは。火災警報器の補助金を出さないのか。

答

町では、障がいのある方や、要介護者認定者のうち、災害発生時や発生する恐れがあるときに、自ら避難することが困難で、避難に支援を必要とする方を対象に、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成を進めている。住宅用火災警報器の補助金はない。



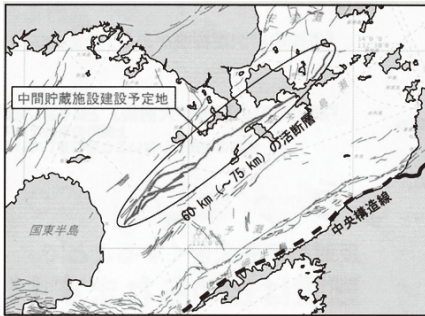
住宅用火災警報器



高見 英夫
議員

Q 「核のゴミ」
中間貯蔵施設の安全性は

A 事業計画が出たら中電に追加資料求める。
環境影響評価は中電が自主的にやるべき。
東 町長



問 ①岩国米軍基地に近接する原子力関連施設として第3国による攻撃対象となる危険性と、新たに発見された防予諸島断層帯について、中国電力に再調査を要請すべきでは。
②環境影響評価を中国電力に要請すべきでは。
③町長も、知事に中間貯蔵施設反対の意思表示をすべきでは。

答 ①安全性は事業計画が出て判断する。中電は、建物はM7クラスの地震に耐えられるとしているが、新たに検討して当然。新断層・ミサイル等の問題も事業計画が出たら中電に追加資料を求める。②中国電力が自主的にすべき。やらないことはあり得ない。③事業計画が示されてから適切に判断する。

Q 水道料金の補助金増額を

A 柳井広域で県に支援をお願いする
東 町長

問 ①県とは「柳井地域のみが特別高い水とならないよう配慮する」と確認しているのに、県の補助金は20年で75%削減され、格差は拡大した。補助金を減額してきたのは何故か。②町長は「柳井地域の各市町と連携して、県にさらなる支援を強く働きかける」と答弁しているが、具体的には。

答 ①県は支援の考え方や水準を変化させた。しかし支援・補助金を続けてもらっている。
②最重要課題と位置付けて県知事要望している。県は2027年度までの支援継続などを示している。柳井広域(柳井、田布施、平生、上関、周防大島)で結束して県に支援をお願いする。

柳井広域水道に係る県補助金の減額と他地域との格差

柳井広域への県高料金対策補助金の推移

期間(年度)	県補助額(年度平均)	増減
2002～2011	144,277千円	100%
2023～2025	36,248千円	-74.9%

20㎡当たり料金格差の推移

年	柳井広域市町平均	柳井以外12市平均	格差
2014	4,336 円	2,460 円	1,876円高
2025	5,029 円	2,657 円	2,372円高

※各表は県生活衛生課「情報公開資料」等から作成

Q 町道の維持管理に注力を

A 人員不足だが、努力する
東 町長

問 ①陥没や草木による通行危険など道路の異常を通報するシステムは機能しているか。②高齢化が進み自治会や個人による町道周辺の草木の整備が追いつかなくなっている。町道管理委託料を増額するなど、自治会への支援を強化すべきでは。③道路関係町職員を増員すべきでは。

答 ①休日や夜間も含め、電話・来庁・LINE で通報受付し、対応している。②自治会などには苦勞をかけているので他市町の取り組みなどを参考に検討する。③人員が慢性的に不足している。役場全体の定員管理の問題として捉えていく。

PICK UP

ふるさと 住民登録制度



国民誰もが専用アプリを通じて関心のある市区町村や都道府県に登録し、地域情報や活動サポートを受けられる仕組み。登録区分は関係性の深さに応じて「ベーシック登録」と「プレミアム登録」の2種類が設けられ、今年度中に開始予定。

問 町のグランドデザインと重要3課題は。現在の町の体制で克服できるか。町職員のみで解決困難な課題にどう対応するか。新しくふるさと住民登録制度がスタートする。この制度を利用し、関係人口の創出を図るとき、広く人材募集をしてはどうか。

答 グランドデザイン・重要課題はたぶせ未来戦略の3つの基本目標の政策分野だ。課題克服は組織を柔軟に変えることも肝要。毎年定員適正化計画の見直しを図り、課題によるが解決困難な場合も、一定の方向性やアプローチで建設的な進展は可能。人材確保は先進の事例が参考になれば取り組みたい。



高月 義夫
議員

Q 重要課題に
取り組む体制は

A 柔軟な組織見直しと
人員確保に努める 東町長

Q 地域おこし協力隊の
過去・現在・未来は

A 過去を反省し
隊員のサポートに取り組む 東町長

問 地域おこし協力隊の過去の採用・定住実績。中途離任理由、制度に対する町の考え、民間委託する空き家対策サポート事業で調査した空き家を、町はどうしたいのか。事業継続のため毎年の継続採用と、隊員や支援者が孤立や過労にならないための手厚いサポート体制の構築を求める。

答 地域おこし協力隊は過去7名の採用。定住は2名。田布施からの転出理由は、家庭の事情等様々。職員の隊員への支援が不十分であったとの反省から、今後は民間サポート業者委託で手厚く支援する。3年後のゴールは関係団体がいろいろ考えている。職員も隊員サポートは連携して行う。



地域おこし協力隊員が
指導を受けながら農作業している様子

議会広報公聴モニターの皆様からいただいた感想です。

議会だより169号を読んでの感想

より良いまちづくりへ

大内 清美

今回の議会だよりを読んで気になった内容が二つある。

一つ目は、町民との話し合いの場を設けては、という質疑である。私も身も常々思っていた事であり、一町民の声はどうやって議会まで届けばいいのか、また、どんな人の声が届いているのか疑問だった。気軽に話し合える場があれば周りで聞きし意見を直接伝える事ができるので、まず小さな意見を届けられる場を作ってもらう事はとても大事だと思う。

二つ目は、町内在住の外国人の内訳だ。全国的に外国人問題が色々取り上げられている中、近所でも最近外国人労働者の方を見かけるようになり、気になっていたからだ。

こんな田舎で人手不足の為に働いてくださる外国の方には感謝をしないといけないが、できる事なら外国人に頼らず日本人が働けて住みやすい町になることを願う。

田んぼの景色

松宮 和子

普段通らない道を久しぶりに通った時に、田んぼだった場所がいつの間にか太陽光発電施設になっていたことがよくあります。田んぼを作れなくなって、草刈りなどの土地の維持管理が大変なので太陽光発電所にしたという話を聞いたことがあります。

議会では、太陽光発電設備の管理や将来寿命をむかえた時の撤去の問題、管理不全土地の問題などが質問されていました。どちらも元をたどれば、作れなくなった田んぼにながるとなると想像しました。

今年度新しく設立された町農業支援センターは、耕作放棄地を田畑にもどすことはできないのでしょうか？今後の発展に期待しています。「田布施の田の字は田んぼの田」のキャッチフレーズにふさわしい景色がよみがえるとうれしいです。

長年親しまれてきた議会モニター制度ですが、次号より、違う形で町民の声を掲載するよう生まれ変わります。今まで原稿をお寄せいただいた皆様本当にありがとうございました。

新田布施駅の整備案第2弾

中谷 悦次郎

本年度、本町において「駅まちづくり推進室」が新設されました。本推進室においては、賑わいの創出が期待されています。

次に、具体性のある建設的な案としての「比較」駅を出します。それは「北海道糠南（ぬかなん）」駅になります。この駅は、廃線候補の例としてあげました。近くに民家は、一軒しかありません。また、自動販売機、公衆電話BOX、郵便ポストはありません。また、2024年までの直近5力年の乗車人員1日平均は「1人以下」となっております。このような駅には、田布施町のように新規予算はつきません。なので廃線候補となるのです。最後に、我が町の「新田布施駅」は、未来への発展性があることが分かりました。そして、多世代型交流のコミュニティ駅としての進化を待ち望みつ、第169号の感想と致します。

議会だより第169号を読んて

高瀬 しづえ

表紙の日付入り写真のキャッチフレーズは清々しいです。2頁のHOT TOPICSは3月定例会の内容が一目瞭然、更に5頁の予算審査特別委員会はQ&Aに端的に纏められ、とてもわかりやすいです。また、5段構成の頁の中に写真、イラストが適宜ちりばめられ、楽しく読み易いです。10頁の一般質問は要約されたQ&Aの太字と今号もPICK UP、用語メモ等、読者にやさしく、興味をそそります。質問の中に、今までそれほど関心のなかった外国人関連がありました。国別登録者数や質問内容から、改めて町の人手不足の現状を少し理解できました。また、2030年問題は早急に取り組むべき喫緊の課題だと思います。上関中間貯蔵施設、経費削減等々多岐にわたる質問は、どれも関心のあるものです。今後も町民が互いに切磋琢磨し、未来志向での町づくりに協力していきたいらいいと思います。



議員の活動報告(4月～6月)

- 4月** 3日 周南地域消防指令センター開所式(南議長)
議会広報委員会(高月・藤田・落合・高見・守田・南議長)
6日 議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
8日 柳井高等学校開校式及び入学式(南議長)
田布施農工高等学校開校式及び入学式(南議長)
田布施中学校入学式(落合・西本・高見)
10日 議会広報委員会(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
29日 スポーツ少年団結団式(南議長)
- 5月** 1日 全員協議会(全議員)
熊毛郡町議会議長会定例会(南議長)
8日 柳井地区広域市町議会議長会定期総会(南議長)
12～13日 議会議員行政視察<宮崎県高鍋町・川南町>
(南議長・落合・内山・瀬石・高月・高見・西本・藤田・守田)
15日 光地区防災協会定期総会(南議長)
田布施町商工会通常総代会(南議長・落合副議長)
20日 山口県東部高速交通体系整備促進協議会定期総会(南議長)

- 5月** 26～27日 町村議会議長研修会(南議長)
28日 熊毛郡体育協会役員総会(南議長)
29日 施福会理事会(南議長)
- 6月** 5日 議会運営委員会
(落合・内山・高月・谷村・西本・松田・南議長)
議会広報委員会
(高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長)
山口県町議会議長会決算監査(南議長)
10日 第3回定例会本会議(初日)
11日 第3回定例会本会議(2日目)
12日 経済厚生委員会
(内山・守田・小中・瀬石・高月・谷村・南議長)
16日 総務文教委員会
(西本・高見・落合・藤田・松田・南議長)
18日 第3回定例会本会議(最終日)
26日 議会広報委員会
(高月・藤田・落合・高見・守田・南議長)

Report

議員行政視察

5/12火

宮崎県高鍋町



高鍋駅

高鍋駅の視察

田布施駅舎と駅周辺の整備事業の参考とするため、昨年3月に大規模改修を行った高鍋駅交流拠点施設を視察。駅舎を交通施設と捉えず、「交流」「観光」「地域回遊」の拠点として再整備し、駅周辺の活性化を目的としている。施設の管理運営及び賑わい創出事業は、高鍋町観光協会に委託し、まちづくり事業者等と連携しイベントを実施し駅周辺の活性化に取り組んでいる。

高鍋町の課題はバリアフリー化ができなかったこと。本町の跨線橋についても段階的な整備とならざるを得ず、今後の重要検討課題である。

Report

議員行政視察

5/13水

宮崎県川南町



川南町のパンフレット

ふるさと納税の取組について

川南町の人口は田布施町と同等であるが、ふるさと納税寄附額は令和5年のピーク時は54億円。人気返礼品は肉類72%(鶏肉、豚肉、牛肉)、飲料16%(野菜ジュース、マンゴー、お茶など)。寄附者を増やすにはポータルサイトで目に触れるようにし、寄附者目線で返礼品を開発。返礼品業務も8億円を過ぎたところから地域の中間事業者へ委託しはじめたとのこと。寄附金の使い道は給食の無償化、子育て支援センターが併設された川南町総合福祉センターの建設などに使用している。1次産業の6次産業化、町のPRの重要性・必要性を多く感じた。

議会を
傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。
身近な町政、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

9月
定例会
日程 (予定)

8日	本会議(初日)
9日	本会議(2日目)
10日	決算審査特別委員会
14日	経済厚生委員会
16日	総務文教委員会
18日	本会議(最終日)

information

いずれも午前9時から。

一般質問は8日、9日に行う予定です。定例会の正式な日程は、9月3日の議会運営委員会で決定されます。日程の変更は、町HPでお知らせします。

※受付簿廃止により、氏名等記入しなくても傍聴できます。

【問合せ先】 議会事務局 ☎0820-52-5800

歳時記



▲今年も梅を漬けました
by 守田



▲海岸清掃後のスイカ割り
by 藤田

議員リレー随筆

四世代の田植え完了

南 一成

今年も6月上旬、四世代12人での田植えが終わった。5月の連休中には苗箱の土入れ、もみ蒔きなど育苗も手伝ってくれた。5人の孫、小学生は参加する事に意義があり、中学生は頼もしく成った。本日の目的は作業後の夕食かも知れないが嬉しい限りだ。

昨年お米が品不足で長男の妻の実家が困っているのを聞いて孫が「おばあちゃん、僕が作ったお米なので遠慮なく食べて」と九州に届けた。

10月には稲刈りも全員で作業して、畑に使う稲わらも保管する。やっぱりすべての作業を経験すれば自分が作った、という自信がつくものです。

二度目の青春

守田 達也

50年前、当時は青年団活動が活発で私も仲間と共に青春時代を過ごした。

社会人としての勉強や住みよい町・活気あるまちづくりの一助になればとの思いで町内各地での盆踊り大会、劇団公演、田布施川での、のど自慢大会（現在のさくら祭りの前身等、多くの活動を行った記憶がある。

現在は、若者それぞれの生き方・趣味の多様化で一堂に会しての活躍の場が無いのが寂しい。是非、若者の行動力で地元を活気づけて頂きたいと願う。

さて、あれから50年、今度は議員として、住みよい町・活気あるまちづくりの為、二度目の青春？を精いっぱい頑張りたい。

発見！

ワイスたぶせ

3択クイズです。2問お答えください。

問1 6月の補正予算で令和8年度

一般会計の総額は

いくらになったでしょう？

① 4984万円

② 74億5784万円

③ 74億800万円

問2

視察に行ったのは

どこの駅でしょうか？

① 川南駅 ② 高鍋駅 ③ 宮崎駅

ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先 〒742-1592
山口県熊毛郡田布施町
大字下田布施3440-1

田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り

令和8年8月31日(月)

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku
@town.tabuse.yamaguchi.jp

前号の正解

正解者の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお届けします。なお、正解者の発表はお届けを待つてかえさせていただきます。ご了承ください。

問1 駅整備の部署は ③ 駅まちづくり推進室

問2 一般会計当初予算の前年度比 ③ 7.4%増

編集後記

今年も猛暑・酷暑到来か？温暖化対策が、今人類にとって一番の課題ではないか！戦争や紛争をやっている場合ではない！

さて、議会だよりを読んでの感想コーナーでは、お褒めの言葉を頂いたり、ご意見・ご要望を沢山頂き、委員一同大変励みになりました。残念ながら今回で終了となります。モニターの皆様には長い間、沢山のご感想をお寄せいただき有難うございました。編集委員一同、心から感謝申し上げます。次回からの新しい企画については現在、委員会で鋭意検討中です。どんな企画となるか？市民の皆様が発行を楽しみにしていただける内容に成るよう頑張ります。

(守田)

議会だよりの題字は、岸 信介書

発行／田布施町議会 〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施3440-1 TEL:0820(52)5800 FAX:0820(52)5970

編集／議会広報委員会 印刷／合同会社坂本印刷 発行日／2026年7月24日